第２回　桐生・みどり共同事業協議会　開催結果

○日　　時　　令和６年１月１９日（金）午前１０時００分から午前１０時４５分まで

○場　　所　　みどり市役所笠懸庁舎　第２会議室

○出 席 者

桐生市長	荒木　恵司
桐生市副市長	森山　享大
桐生市議会議長	人見　武男
桐生市議会副議長	山之内　肇
桐生市議会総務委員会委員長	石渡　宏明
桐生市議会公共施設のあり方等調査特別委員会委員長	福島　賢一
みどり市長	須藤　昭男
みどり市副市長	塚越　昭一
みどり市議会議長	杉山　英行
みどり市議会副議長	宮﨑　　武
みどり市議会総務文教常任委員会委員長	柴﨑　訓佳
みどり市議会市民福祉常任委員会委員長	髙草木　弘子

事務局職員１３人（桐生市：６人　みどり市：７人）

○報道機関　　２社（上毛新聞、桐生タイムス　計４人）

○傍 聴 者　　６人（みどり市議４人、その他２人）

○会議内容

１　開会

２　両市長挨拶

３　前回の協議事項の確認について

・事務局より前回の協議事項について説明

４　議題

（１）清掃センター事業の取扱いについて

・事務局より「前橋・桐生・伊勢崎・みどり・玉村一般廃棄物処理広域化協議会」が設立され、ごみ処理の協議が開始されたため、その状況を注視しながら対応していくことを提案し、承認された。

（２）桐生市斎場の現在の状況について

・事務局より桐生市斎場の現在の火葬の状況、施設の状況について説明を行った。

［質問内容］

○みどり市委員

ロストル式火葬炉を「旧式な」という表現しているが、ロストル式が旧式で、台車式が新式とは言いきれないのではないか。

→事務局

最近建設されている施設では、台車式が主流であり、ロストル式の割合が少なくなっている状況からこのように表現した。表現については、変更を検討したい。

○みどり市委員

平成２６年の耐震診断では「耐震性は高い」となっているが、その後、時間が経過している中で、現在の耐震性はどうか。

→事務局

平成２６年の耐震診断以降、診断は行っていないが、その後、大きな変化はないので現在も耐震性はあるものと考えている。

（３）今後の斎場事業について

・事務局より死亡数の実績及び推計、今後の斎場を桐生市単独で建設した場合、みどり単独で建設した場合、共同で建設した場合の火葬炉の数、斎場建築費（導入コスト）、運営経費（ランニングコスト）それぞれについて説明した後、今後の斎場事業を桐生市・みどり市共同で行うのかそれぞれ単独で行うのかについて協議を行った。

［協議内容］

○みどり市委員

現在の斎場の地元対策は今後どのように行っていくのか。

→事務局

新たな斎場をどこに建設するか決まっていないが、どこに建設するにしても地元対策は、きめ細やかに行ってまいりたいと考えている。

○みどり市委員

桐生市・みどり市の高齢化率の状況はどうなっているか。

→事務局

12 月末時点で押さえている高齢化率については、令和元年が桐生市 35.5%、みどり市 29.1%、令和 2 年が桐生市 36%、みどり市 29.6%、令和 3 年が桐生市 36.5%、みどり市 30%、令和 4 年が桐生市 36.8%、みどり市 30.1%、令和 5 年が桐生市 37.2%、みどり市 30.4%である。今後の見込みについては把握していない。

○みどり市委員

本日の資料だけでは判断するのは難しい。今日は資料を持ち帰って検討し、今後さらに詳しい資料（過去 10 年間の経費・負担割合など）を提示いただいてから判断したい。

○桐生市委員

基本的にはなるべくはやく時間をかけずに結論を導き出したいと考えるが、持ち帰るとの意見が出たので無理に方向性を決めるのは難しい。両市とも一度持ち帰って次のときに方向性を出す形がよいと思う。

［協議結果］

・次回の会議では、委員から提案された資料を提示し、再度、桐生市・みどり市共同で行うのか、それぞれ単独で行うのかについて協議を行うことになった。

○その他　　次回の会議は、桐生市において開催

以　上